

青山コウヘイ

事務所ニュース

No.10 2017年4月13日



下請け・中小企業懇談会 大田から政治の転換を！

4月5日、日本共産党大田区議団と地区委員会の主催で、下請け・中小企業懇談会が行われました。笠井亮政策委員長・衆議院議員、佐藤伸区議の報告に続き、区で行った中小企業全数調査の分析を区議団が委託した研究者の方々、区内の皆さんが発言しました。青山コウヘイ



下請・中小企業懇談会の様子。報告する笠井政策委員長。



4月11日、雨の中かっぱを着て訴える青山コウヘイ（蒲田駅東口）

青山コウヘイ東京4区雇用と生活対策室長

日本のものづくりを中心で担ってきた町工場は、大田区でかつての9千社から、今は3分の1ほどに激減してしまいました。

懇談会でみなさんの報告や実態を伺い、大企業の海外進出を後押しし国内産業を空洞化させるなど、中小企業の経営を追い込んできた政治の責任を痛感します。

青山コウヘイ プロフィール

日本共産党、衆議院東京第4区（大田区の中南部）雇用と生活対策室長。1991年（平成3年）生まれ。現在25才。静岡県沼津市出身。中央大学法学部卒業。全日本学生自治会総連合（全学連）書記局、首都圏学生9条の会ネットワーク事務局などで活動。

一部の人の利益のために、大多数の人たちが苦しめられる政治を終わらせ、日本国憲法を守り生かし、若者が希望を持って暮らせる社会へ変えるため、日々奮闘中。



3月27日、大田革新懇の春のつどいで。講師の五十嵐仁法政大学名誉教授（中央）、井戸まさえ・民進党東京4区総支部長（右）と。

中小企業のまち・大田から、大企業優先の政治をなんとかして転換する決意を新たにしました。

東京4区から青山コウヘイさんを国政へ

下丸子支部

中山洋子

青山さんとは、「赤旗」の拡大などで地域を一緒に廻る事があります。そんな時、青山さんは訪問する家の人の話をいいねいに聞き、やさしく話します。そうした態度について本人は「玄関に出てくるだけでも大変なお年寄りもおられます。ほとんどの方は私よりも年上なわけですから、貴重な話も聴けますし、相手の方に寄り添って話すように心がけています」と言います。

出される要求についても、その解決



握手する中山さん（右）と青山コウヘイ（左）

策と一緒に考える姿勢に貫かれています。それは青山さんが、学生時代に9条の会運動などに取り組み、リーダーとしていろいろな立場の人達を尊重しながら、運動を進展させてきた経験が役に立っているのでしょう。戦争法反対運動や先の参議院選挙で市民と野党共闘は大きな力を発揮しましたが、こうした青山さんの資質と経験は今の時代に求められている貴重なものだと思います。

青山さんはいつもにこにこ元氣いっぱい、支部の人たちの感想は異口同音に「とても二十五歳とは思えない」。落ち着いてしっかりと演説がうまです。また、最近はとくに演説がうまくなつたと評判です。

安倍政権の暴走には心底怒りを覚えます。衆議院議員青山コウヘイさんの誕生を心から期待します。共に頑張ります。

主権者は俺だと若者ら声あげる国を動かすまっすぐの声

《コウヘイ こらむcolumn》

4月4日、東京工科大学(蒲田駅西口)の入学式に向かう新入生のみなさんに、民青同盟のみなさんと一緒に宣伝をしました。

日本の大学の初年度納付金は、国立で平均80万円、私立で平均130万円。同大学では、なんと約200万円にのぼります。高すぎる学費と、奨学金という名の学生ローンが、若者だけでなく、全世代を苦しめています。

誰もが安心して学び働ける社会にするため、全力で頑張ります。(青山コウヘイ)



〈青山コウヘイの25年⑩〉



左から、コウヘイの祖父、祖母、コウヘイ（小学校2年生）

昂平（コウヘイ）は父方の祖母と一緒で暮らしていましたが、祖父は昔マダロ船の船乗りをしていたそうです。一緒に旅行や魚釣りに行ったりしました。

孫たちをかわいがってくれていましたが、昂平が小学校三年生の時、64歳で、膵臓がんで亡くなりました。在宅で看取りましたので、最後まで家族と一緒に過ごすことが出来ました。

（母）